

施策(小)評価シート

1 基本情報

年度	21	施策名(小)	住宅地開発の促進	担当部課名
政策名	快適で魅力のあるまちづくり			建設経済部建設管理課
施策名(大)	住宅・宅地			
施策名(中)				
目的	人口の定住促進のため、住宅地周辺地域で、民間による自然と環境に配慮した良好な住宅地開発を誘導する。			

2 評価指標

指標名	単位	実績値			目標
		19年度	20年度	21年度	22年度
交付決定件数(若者定住得促進奨励金)	件	168	82	1	-
交付決定件数(若者定住)	件	0	0	28	90

3 施策に対する投入資源

投入資源	単位	19年度	20年度	21年度	22年度
		事業費	千円	30,870	11,770
人件費	千円	1,175	914	1,806	1,588
合計	千円	32,045	12,684	2,836	9,088

4 施策評価

	評価判定	判定理由及び課題等
①目標の達成状況	△ ◎ 概ね順調に推移している ○ 一定程度進展している △ 少しは進展している ▲ 進展していない	人口の定住に向けた住宅取得への促進は、助成によって図れているが、施策目的である住宅地の開発誘導での進展は図れていない。
②社会情勢の反映・有効性	◎ ◎ 有効に対応できている ○ 情報把握に努めている △ あまり対応できていない ▲ 有効に対応できていない	住宅地の新たな開発が難しい社会情勢の中で、ソフト面での定住者への助成により、有効に対応している。
③構成事務事業の妥当性	△ ◎ 効率的な構成である ○ 改善が必要な事業がある(1事業) △ 改善が必要な事業がある(複数) ▲ 構成自体に問題がある	若者の定住促進の観点から、助成事業を行うことに関しては一つの手法として妥当である。 しかし、人口定住については、新たな事業検討が必要である。
④業務方法の効率性	△ ◎ 効率的に進めている ○ 改善等の余地が一部ある △ 改善等の余地が大きい ▲ 抜本的な改善等が必要である	助成対象となった者には、申請漏れのないような体制はとれている。また、新築住宅建築検討者には、HPに掲載するなど、周知に努めているが、更なる方法による積極的なPRが必要である。
⑤施策の総合評価	B A 継続 B 改善 C 再構築 D 見直し・縮減	人口増に向けた定住促進の一部として、住宅取得に対する助成事業は、有効に働いている。 しかし、住宅地開発の誘導については、他課と連携し検討していく必要がある。

5 施策の推進に向けた今後の対応

既存事務事業及び新規事業の方向性	若者世帯住宅取得促進奨励金支給事業は平成21年度で支給終了。 新規事業として、若者定住促進奨励金支給事業を平成21年度より5年間継続して実施していきながら、相生市への定住につながるよう広報やホームページ、住宅展示場などへのチラシの配布など積極的なPRを実施していきたい。
------------------	--

6 構成事務事業

NO	事務事業名 事業開始年度	指標名 (単位)			投入資源(千円)		妥当性
					事業費	人件費	
		20年度 実績	21年度 実績	22年度 目標	20年度	20年度	
					21年度	21年度	
			22年度	22年度			
1	若者世帯住宅取得促進奨励 金支給事業 -	交付決定件数 件			11,770	914	4
					40	693	
		82	1	-	0	0	
2	若者定住促進奨励金支給事 業 平成21年度	交付決定件数 件			0	0	4
					990	1,113	
		0	28	90	7,500	1,588	
3					0	0	
					0	0	
					0	0	
4					0	0	
					0	0	
					0	0	
5					0	0	
					0	0	
					0	0	
6					0	0	
					0	0	
					0	0	
7					0	0	
					0	0	
					0	0	
8					0	0	
					0	0	
					0	0	
9					0	0	
					0	0	
					0	0	
10					0	0	
					0	0	
					0	0	
11					0	0	
					0	0	
					0	0	
12					0	0	
					0	0	
					0	0	

第三者評価委員会意見

施策目的を達成するためにも他部署との連携を図り、新たな事業展開を期待する。
 短い年数で判断できる施策ではないので、市内の遊休地の活用なども含めて、長期的な視点で進めていただきたい。
 目的である定住を進めるためには、相生市のアピールポイントと組み合わせて、強いPRを進めていただきたい。
 事務事業における若者定住促進奨励金支給事業については、定住地として相生市を選択肢に入れていくためにも、
 住宅建築を思案している段階などの早い段階で呼び水となる積極的なPRをお願いしたい。